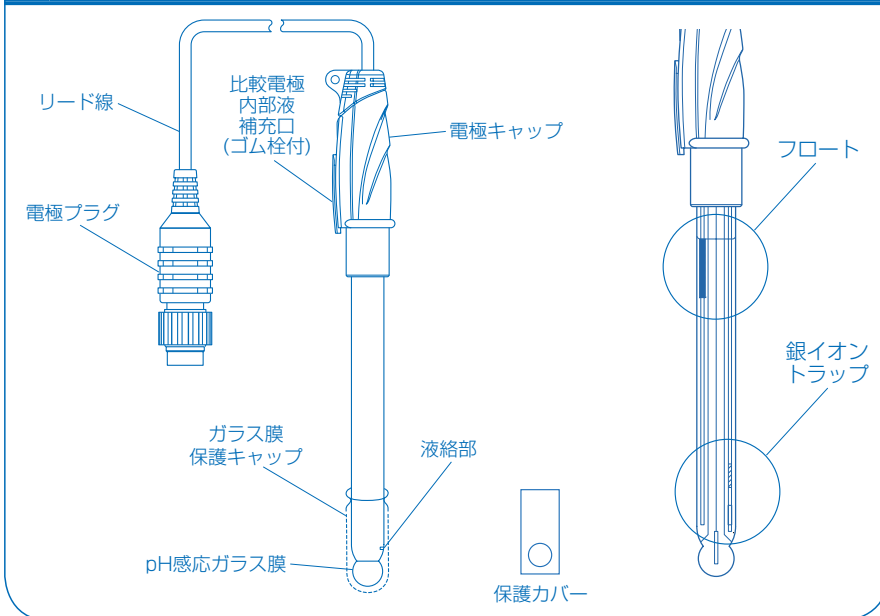


お買いあげいただきありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱
説明書をよくお読みください。

- ・この電極はガラスを使用しております。ぶつけたり落としたりすると破損することがあります。
- ・破損したガラスで手指等を切ったりしないよう十分にご注意ください。

- ・比較電極内部液には濃厚な塩化カリウム溶液を使用しています。毒劇物ではありませんが、皮膚についたときは洗い流してください。万一目に入ったときは直ちに大量の水で洗い流してください。
 - ・製品安全データシート(SDS)を別途用意してあります。
- 比較電極内部液 RE-4 SDS No. 1020



(1) 保護キャップをゆっくりとはずしてください。

(2) 電極先端(ガラス・液絡部)を純水などでよく洗い、水分を吸取ってください。

(3) 電極プラグをpH計本体に接続し、標準液校正を行い被検液の測定に移ってください。

ろ紙など

注 はじめてご使用になるときに、比較電極の内部液の量が不足していても不良ではありません。次項⑥測定前の準備(通常使用のとき)の要領で比較電極内部液を足してご使用ください。

①電極プラグは丸印を上にして、まっすぐにさしこんでください。(無理に回さないでください)

②固定リングを回して、確実にロックしてください。

③プラグの差込は堅めになっています。

④手指等で、直接プラグピンに触れないようにしてください。

(1) 内部液が電極キャップの下部まであることを確認してください。不足している場合は比較電極内部液補充口のゴム栓をはずし、比較電極内部液を補充してください。

(2) 電極先端(ガラス・液絡部)を純水などでよく洗い、水分を吸取ってください。

(3) 前項の⑤測定の準備(はじめてご使用になるとき又は長期保存後にご使用のとき)の要領で電極プラグをpH計本体に接極接続し、標準液校正を行い、被検液の測定に移ってください。

注) プラグピン13本のうち2本の長さが異なっていますが、これが正常な構造です。

型 名	GST-5841C	GST-5821C	GST-5851C
▷用 途 ・ 特 長	一般用 Strong pH	一般用	高アルカリ用
▷測定範囲	0~14		
pH Temp	0~100℃		
▷使用温度範囲	0~100℃(急激に50℃以上の温度差を与えないでください)		
▷周囲温度・湿度範囲	0~80℃, <95%(電極単体のみ)		
▷最少被検液量	1 mL		
▷接液部材質	ガラス, 多孔質セラミック, PE(保護カバー)		
▷内部電極	銀-塩化銀		
▷比較電極内部液	RE-4 (3.3mol/L 塩化カリウム溶液)		
▷測定部直径	φ 12mm		
▷液絡部高さ (電極先端からの位置)	約14mm		
▷リード長	1m		
▷電極長	190mm		
▷梱包内容	電極本体, 保護カバー (GST-5841Cは無し) 製品合格证, 取扱説明書 (本書) ……各1		
▷別 途 販 売 品	比較電極内部液 RE-4 500mL(コード143F234) RE-4 50mL点眼瓶×3本入り (コード0BG00011)		
\\ 本電極にはメモリ機能が付いています (詳細は本体取扱説明書をご覧ください)			

本電極にはメモリ機能が付いています（詳細は本体取扱説明書をご覧ください）

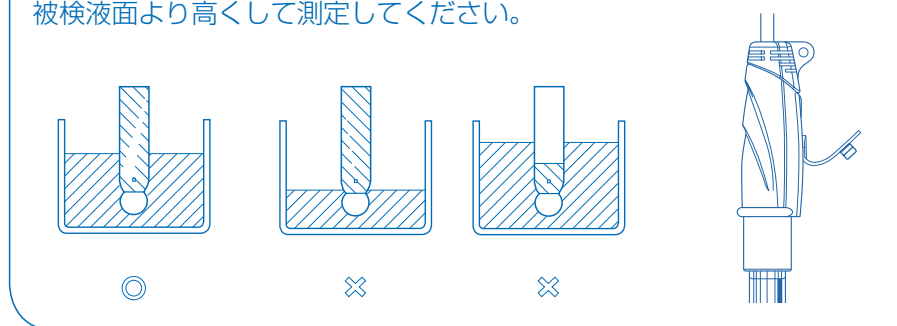
比較電極内部液に入っている赤いフロートは、内部液濃度チェック用のインジケータです。フロートが沈んでいる場合は電極を逆さにして、途中で引っかかっていないことを確認してください。

それでも沈んでいる場合は内部液濃度がうすくなっていますので、比較内部液を交換してください。

比較電極の内極先端には銀イオントラップ剤が付いています。銀イオン溶出による内部液のつまりを防ぎます。

比較電極内部液補充口のゴム栓を外してから、ガラス膜及び液絡部を完全に被検液中に浸して測定してください。また、比較電極内部液の液レベルは常に被検液面より高くして測定してください。

補充口は開けたまま測定を行ってください。



- ・長期保存及び一週間以上ご使用にならないときは、以下のような点にご注意ください。
 - ・ガラス膜及び液絡部を純水でよく洗浄した後、比較電極内部液を電極キャップ下部まで入れ、補充口のゴム栓をしっかり閉じて下さい。次いで保護キャップの中に入っている白い保水材が浸る程度に少量の純水を加え、電極先端にかぶせて保管してください。
- ＊再度使用するときは⑤項の準備から始めてください。

- どの液に入れても指示値がpH7付近から動かないとき**
ガラス膜のクラック（微妙なひび割れ）や絶縁劣化が考えられます。
- 指示値が振り切れるとき**
プラグ装着を確認してください。また比較電極内部液量が不足していないか確認してください。不足していなければガラス膜の著しい汚れ、もしくは断線が考えられます。
- 応答速度が遅いとき・繰り返し性が得られないとき**
ガラス膜・液絡部・比較電極内部液が汚れている恐れがあります。ガラス膜を洗浄し、比較電極の内部液を交換してください。補充口ゴム栓を2～3回開け閉めして液絡部から比較電極内部液を十分浸み出させてからご使用ください。

- 電極は精密な部品です。強い衝撃を与えないでください。
- 電極プラグは高絶縁が必要です。水などに浸さないでください。
- 使用温度範囲内でご使用下さい。また、クラックの原因となるため急激に50℃以上の温度差を与えないでください。
- 電極ケーブル内部の電気抵抗により測定温度と表示温度とずれを生じる場合があります。精密測定を行う場合には、誤差を与える要因になりますので、計器本体の操作方法に従って温度の合わせ込み操作を行い、温度のずれを補正してください。
- 電極性能を維持するため、保管の間を除き、2～3ヶ月を目安に比較電極内部液を交換してください。
- 精密な測定をする場合は繰り返し3回以上洗浄した後、12時間以上純水に浸して、ガラス膜を水になじませてからご使用ください。
- ガラス膜を乾燥状態で放置して応答が遅くなった場合には、純水中に数時間以上浸すか、約0.1mol/Lの塩酸に約30分間浸し純水でよく洗浄してからご使用ください。
- 電極膜が特に汚れている場合には、中性洗剤をガーゼなどにつけてぬぐい落とすか3～6mol/Lの塩酸に約10分間浸し、純水でよく洗浄したあと数時間以上純水に浸してからご使用ください。油性の汚れの場合には、アルコールなどの有機溶剤を付けたガーゼなどでぬぐい落として、純水でよく洗浄したあと数時間以上純水に浸してからご使用ください。クレンザー等の研磨剤を含む洗剤は絶対に使用しないでください。(ガラス膜に傷が付き、性能が悪くなります)
- 洗浄のため塩酸に浸した後は、比較電極内部液を入れ替えてください。
- 比較電極内部液に塩化銀は含まれていません。塩化銀を含む内部液は使わないでください。
- ガラス膜近傍に1mm程度の微小な気泡が存在しても性能に影響することはありませんが、大きな気泡がある場合は気泡を抜いてください。気泡を抜く場合には水銀の体温計を振る要領で電極を振って抜いてください。
- ガラス電極内部液中に茶褐色の塩化銀粒子が析出することがありますが、性能には影響ありません。
- 電極を振ると内部電極が揺れることがありますが、異常ではありません。
- 開梱時あるいは保存中に、保護キャップや補充口から白い結晶（比較電極内部液が乾燥して結晶化した塩化カリウム塩）が出ていても異常ではありません。

本電極を廃棄する場合には、各地方自治体の指示に従ってください。



本 社 〒169-8648 東京都新宿区高田馬場1-29-10
TEL.03-3202-0211 FAX.03-3202-0220
URL <http://www.toadkk.co.jp/>